

平成27年度 中国経営品質協議会 幹事会を開催

6月15日(月)、平成27年度(第16期)中国経営品質協議会幹事会が開催され、「平成26年度活動報告」ならびに「平成27年度活動計画」が審議、承認されました。

冒頭に荻田知英代表幹事(中国電力株(株)取締役社長)から、「地方に目を向けてみると、景気的好循環が十分に浸透しているとは言えない状況であり、持続的に経済を成長させていくには、地方が主体的にアイデアを出し、自らが行動していかなければならない。今年度も着実に当協議会の事業を実施し、中国地域全体の活性化に微力ではあるが貢献していきたい。」旨の挨拶がありました。

引き続き「平成26年度活動経過報告」ならびに「平成27年度活動計画」の審議に入り、両議案とも原案通り承認されました。また、平成27年度の幹事(9名)・運営委員(7名)についても承認されました。

平成27年度の活動計画の概要は、以下の通りです。

【平成27年度活動計画について】

○経営品質向上プログラムは、規模の大小、製造業・サービス業・行政などの事業分野を越えて活用できるものであり、本プログラムの普及促進および実践組織への支援に向けて事業を展開

(1) 「経営品質実践セミナー」

企業・組織変革への動機づけ、経営品質の本質に対する“気づき”を増進させることに主眼を置いた「経営品質実践セミナー」を定例開催する。今年度は「優れた人材と現場による顧客価値の創造」をテーマに5例会を開催



第1例会 8月19日(水)

「人が輝く組織の実現」

第2例会 10月27日(火)

「高い経営品質を製造業で実現」

第3例会 12月10日(木)

「社員がイキイキと顧客へ喜ばれる価値を創造」

第4例会 平成28年1月21日(木)

「顧客価値創造と顧客認識」

第5例会 平成28年3月3日(木)

「イノベーション魂！」

(2) 「アセスメントコース」

セルフアセスメントの基本的な考え方を習得する「セルフアセスメントコース」の3コースを継続して開催

A1(基礎編) 10月27日(火)～28日(水)

経営品質の基本的な考え方・セルフアセスメントの概要を解説

A2(知識編) 11月24日(火)～25日(水)

アセスメント基準書に基づく経営活動の見方・考え方を解説

A3(評価編) 平成28年2月2日(火)～3日(水)

セルフアセスメントの方法と効果的な対話の方法を習得

(3) その他、経営品質向上プログラムを実践する各組織の実情やニーズに応じた組織内展開の支援を継続して実施

平成27年度通常総会特別講演会
『駆け抜けた野球人生～努力と忍耐の軌跡～』
野球評論家 金本 知憲 氏

6月1日(月)開催の平成27年度通常総会における特別講演では、広島東洋カープ、阪神タイガースで活躍された野球評論家 金本知憲氏にご講演をいただきましたので、その一部をご紹介します。
(MCは中国放送の一柳信行アナウンサーです。)

【MC】引退されて、3年目になりますが、引退されてからの生活はどう変わりましたか？

【金本】何かと忙しいですが、実は、現役時代30歳の頃から、一番の夢が「引退」でした。

【MC】30歳の頃って、野球選手として油の乗った時じゃないですか？

【金本】結果として、キャリアを重ねて一番いい成績を残したのは37歳の時だったのですが、常々「35歳全盛論」というのを自分で勝手に持っていて、「35歳で最高の成績を残す」ことを目標にやってきました。当時、「35歳すぎれば引退」と言われていて、現役時代は、オフを含めて、ずっと体を動かし、トレーニングしてきました。海外旅行も一切行かず、引退すれば、いくらでもできるじゃないかと、そこまで我慢しようと、自分に言い聞かせて、頑張ってきました。引退すれば、いくらでも寝られるし、お酒も飲めるし、そういうのを楽しみにして、夢が叶っての3年目です。

【MC】夢が叶って、いかがですか？「よかった」と思いませんか、それとも「もう一度野球やりたい」と思いませんか？

【金本】やり残したことはたくさんあるし、後悔もあります。しばらくは離れて野球を見てみたい。上から見ていると、よく見えます。「何で今この選手使わないの？」「何でバントさせないの？」って。でも、それは監督の采配だけではなく、選手起用も作戦もそうですが、コーチがちゃんと言ってあげないといけない。監督は考えなければいけないことがたくさんあります。「優秀な部下がいて、トップが輝く」と言われますが、野球界でも一緒だな



と思います。監督一人が全部に目を行き渡すことには、無理があります。

【MC】カープの11年間は、どうでしたか？

【金本】怒涛の11年間でした。高校野球のように泥んこになって、倒れるまで走る、倒れるまでバット振る、苦しかった。優勝できなくて、悔しい11年間でした。結果的にFAで阪神に行ったのですが、阪神に行った最初の試合で、ヒットを打って、カープファンは拍手してくれました。それがとても嬉しかった。涙が出るくらい嬉しかった。

【MC】今年のカープは、盛り上がっていますが、いかがですか？

【金本】新井選手はカープに帰ってきて良かったと思います。相変わらず、大事なところでグッツー打ちますけど(笑)貢献できている。黒田投手にも頑張ってもらいたい。あれだけの実績を挙げているので、広島ファンの期待に応えて欲しい。

【MC】これからの野球界に何を期待していられませんか？

【金本】すごい選手に出てきて欲しい。昔の、長嶋さん、王さんのような。僕も昔広島市民球場に、山本さん、衣笠さん、江夏さんを見ることを楽しみに応援に行きました。今、見る側になって、そういう選手に出てきて欲しいと思います。

講演の一部のみご紹介しました。野球人生のエピソードを中心に、黒田投手や新井選手の話も織り交ぜ、会場を盛り上げていただきました。

HOT情報

中堅社員研修会 ～若手の意識と思考と仕事力を養成～

6月より全6例会で「中堅社員研修会」（講師：中国生産性本部 組織活性化プロデューサー 西川三佐子）を開催しています。研修概要をご紹介します。

顧客が企業に期待することは年々高まり、職場ではやらなければいけないことが、ますます増えていきます。しかし、経営環境が厳しい現在では、最小限の限られた人員で現場を回していかなければなりません。また、ネットが普及することにより便利なことも増えましたが、不祥事が公表されやすくなり、企業内では細かい規約・規則も増え、それに縛られながら、結果を出し続けていくことが余儀なくされています。誰もが人材育成や業務改善が必要だとわかっていても、なかなか職場に余裕はありません。

30代の時の働き方と成長が人生を変える

以前の当本部は毎晩遅くまで残業続きの仕事をしていました。終わりの見えない仕事は、体力だけではなく、気力も奪っていきます。しかし、事務局として30代で当本部のセミナーを多数受講していき、仕事全般について講師の言うことを実行しては反省し、実行しては改善することを繰り返していく中で、物事の本質を学んでいきました。そして、仕事のやりがいを感じると同時に、残業も減っていきました。まさに、30代の時に、仕事の苦しさを体験すると同時に、仕事に対する意識を変え、仕事の質を高めることを考え続ける機会が与えられました。

それは、私共だけではなく、30代の時の仕事の仕方は、その後の人生を大きく変えていくのだと思います。

また、その頃に仕事の認識を深め、実務を磨き経験を重ねることは、後輩指導や将来の部下育成で必須の要素です。さらに、悩むままで停滞するのではなく、客観的に情勢を読み、適切な考えで主体的な行動を起こせる社員を養成することは、企業にとって重要な経営目標でもあります。

日々多忙だからこそ、表面的なノウハウに留まらず、実務を根本的なところから改善し、お客様に価値を提供できる中堅社員（25歳～35歳）を養成することを目的に、仕事力を高める要素を厳選した全6回の研修会を開催することになりました。

すでに、第1回と第2回が終了しましたので、

内容の一部をご紹介します。

第1回 自分自身が成長し会社に貢献する働き方

第1回では、まず、「肯定的に物事を捉えて、前向きに行動する」ことの重要性について事例も踏まえて説明しました。

特に、自分の仕事だけに向けられている視野を、会社全体にまで広げてもらい、経営の目的やお客様に提供している価値についての基本を解説しました。

また、どうして働かなければならないのか、働くことによって自分達はどのような恩恵を受けるのかについても、考えてもらいました。

さらに、今まで自分ができなかったことが、できるようになることが、お客様にとっても、会社にとっても、自分自身にとっても有益であることを理解していただきました。

最後は、自分自身の長所を見つけ伸ばすことの重要性とそれを見つけるポイントについて解説し、会社にとってどのようなことで貢献できるかについてイメージしてもらいました。

第2回 コミュニケーションとメンタルヘルス

お客様や上司に信頼されるためには、コミュニケーションのとり方が重要であることを解説しました。信頼されるコミュニケーションをとる前提として、まずは、自分自身の軸となる考えを持つことと心に余裕をつくることについて具体的に説明しました。

その後、実際のコミュニケーションをとる際の具体的なスキルについて講義し、積極的な傾聴の実習を通して、聞く態度によって相手の話す意欲を削がれていくことを体感してもらいました。また、相手の真意を理解する方法や信頼される存在となるための言葉や行動についても気づきを深めていきました。

最後は、メンタルヘルスとセルフケアについても取り上げ、心身ともに健康に働くための心得について説きました。

第3回以降は、下記のテーマで開催します。

第3回 仕事の進め方と状況判断力

第4回 顧客満足度を高める感じ良さとお客様対応

第5回 問題解決とプロ意識

第6回 リーダーシップと自己革新

伝言板

管理職のためのメンタルヘルス対策セミナー ～組織が崩壊しないためのリスクマネジメント～

日 時：7月16日(木) 10:00～17:00

場 所：広島市文化交流会館（広島市中区加古町 3-3）

会員参加料： 15,400 円

講 師：Y's オーダー 代表取締役 藤野 祐美氏

内 容：

1. 横這いのメンタルヘルス問題の現状：今、職場で起きていること
2. 知らないでは済まされない！ストレスと病の基礎知識
3. メンタルヘルス対策は「早期発見」が重要！
～心の不調に気づくためのチェックポイント～
4. 心の不調を起こした部下への正しい対応
5. 職場復帰のための具体的な方法
6. 「予防」のために上司、職場がすべきこと

経営セミナー（第1回）

～社員と顧客を幸せにする強い経営～

日 時：7月23日(木) 14:00～17:00

場 所：広島国際会議場（広島市中区中島町 1-5）

会員参加料： 2名様まで各回無料

（3名様以上1回につき8,700 円）

講 師：法政大学大学院政策創造研究科

教授 坂本 光司氏

内 容：

1. 経営者の最大・最高の使命は決断
2. 経営者の最大の仕事は三つ
3. 経営者・管理者が重視すべきは業績ではなく継続
4. 経費には、削減して良いものといけないものがある
5. 次代(時代)は5つの眼で読む
6. 中小企業が決してやってはいけない3つの競争
7. 経営者が重視すべきは、5つの財務指標 他

感動の三部作(第1回)

～みんなの壮大な夢を実現するために～

日 時：7月27日(月) 14:00～16:00

場 所：広島市文化交流会館（広島市中区加古町 3-3）

会員参加料： 8,700 円

講 師：青山学院大学 陸上競技部 監督 原 晋氏

内 容：

1. 組織に実績が全くなくても、みんなが未来の大きな夢を目指すための言葉
2. チームが勝つための戦略と人間性を重視した選手の育成方針
3. 目的と目標を明確に、そして、本格的な戦う集団を作る
4. 人の育て方に正解はない。窮したら基本に戻り、自ら考え改善し続ける

5. 選手の自主性を育み、より良い組織をつくるための「目標管理シート」 他

経営品質実践セミナー（第1回）

～人が輝く組織の実現～

日 時：8月19日(水) 14:00～16:00

場 所：広島国際会議場（広島市中区中島町 1-5）

会員参加料： 8,700 円

講 師：人と経営研究所 所長 大久保 寛司氏

内 容：

1. 組織の出力(成果)を最大化するための要点
2. 顧客に最善を尽くせる組織環境を形成するためのリーダーの心得
3. 現場の能力向上とやる気とチームワークを高めるために
4. 価値を提供する相手側から考え検証を続けることの大切さ
5. リーダーとは管理する人ではなく、人(社員・お客様)を幸せにする人

ロジカルシンキングセミナー

～論理的に考える力を身につけ問題解決～

日 時：8月20日(木) 10:00～17:00

場 所：広島市文化交流会館（広島市中区加古町 3-3）

会員参加料： 15,400 円

講 師：株式会社セブンフォールド・ブリス

代表取締役 本田 賢広氏

内 容：

1. ロジカルシンキング(論理的思考)とは？
2. ビジネスに論理的思考を活用する
3. 論理的にコミュニケーションするためには？
4. 相手が納得する論理構造と説明の仕方
5. 複雑な問題でも原因を分析すれば問題解決できる
6. 論理的に分析・検討するロジックツリー
7. ロジカルシンキングを使いこなせば仕事力も向上
8. ロジカルシンキングとはリーダーシップそのもの

管理者セミナー

～部下の仕事力を高める管理者の役割～

日 時：9月4日(金) 10:00～17:00

場 所：広島市文化交流会館（広島市中区加古町 3-3）

会員参加料： 15,400 円

講 師：アクティブ経営研究所 所長

経営コンサルタント

鑄方 貞了氏

内 容：

1. 自分の人生のために仕事をしていますか？
2. 部下と自分の長所を仕事に活かす
3. 管理者の真の役割と職責役割とは？
4. 正しく誉めると部下は大きく育つ
5. 部下の失敗を成長に活かす「叱り方」
6. 部下のやる気と信頼が高まる指導とは！ 他

〈発行〉中国生産性本部

〒730-0041 広島市中区小町 4-33 中電ビル 2 号館 4 階

TEL (082) 242-7972 FAX (082) 242-7973

URL <http://www.gr.energia.co.jp/cpcenter/>